

多高通信

第134号 平成28年9月28日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

第27回多高祭!

■実行委員長

3年6組 高橋日菜乃
(塩竈一中出身)

多高祭実行委員長の仕事を通して、皆で一つのことを創り上げることの楽しさ、素晴らしいと難しさを改めて実感しました。例年以上面白く楽しいものにするにはどうしたらよいか、実行委員の皆と苦労して考えた分、それが形になるのは本当に楽しく、苦労が報われました。多高祭を成功させることができましたのは、実行委員をはじめ、先生方や素晴らしいパフォーマンを見せた文化部・有志の皆さん、展示や模擬店で盛り上げてくれた生徒の皆さん、そして多高祭に足を運んでくださった方々のおかげだと思います。本当にありがとうございます!



茶華道部の御点前



PERFECT HUMAN?



ぺこ&りゆうちえる?



今年も模擬店は大盛況でした!

校外交流行事 参加報告!

STAND UP SUMMIT 2016 (東京)

8月8日~10日、東京ビッグサイトで開催されたSTAND UP SUMMIT 2016に2年生4名、1年生5名

の計9名が参加しました。東日本大震災の復興イベントとして2014年に開催されて以来今回が3回目、本校は昨年度に続いて2回目の参加となります。全国の中学生・高校生・大学生に加え、台湾やアメリカの学生も合わせて60名を超える多くの学生・生徒が「未来は自分たちが創っていく」という強い意志のもと集い、災害からの復興について考え、発信していくイベントとなりました。

■2年6組 遠藤瑠衣(幸町中出身)

1日目は、同じ東北から集まった学生の人たちという異なるプログラムを通して仲良くなれました。2日目は、海外・東京・熊本の学生も参加して15のグループに分かれ、復興について話し合いました。私のグループは海外の学生が3人いて、通訳を通していろいろな経験や思いを共有しました。話し合いの後、1つのポスターを皆で作りました。私は発表の代表者になりました。私は発表の代表者になり、私以外話す人は外国人であったため打ち合わせを英語でするのは難しかったのですが、通訳の方に手伝って頂きながら準備を進めました。発表直前、私が緊張しているのに気付いたメンバーの1人が「リラックス」と笑顔で話かけてくれて、発表は大成功でした。私は昨年にも参加し今回で2度目の参加となりました。話し合いを重ねるたびにどんどん深く自身の濃いものになってきていると思いました。震災から5年たった今でも復興が進んでいないところもあるし、忘れかけられている事実もあります。この思いや体験を私たちが未来に伝えていかなければならないと実感した3日間でした。



2日目の「復興セッション」。テーマごとに復興へのアイデアを出し合います。

ハイスクール世界サミットin 福島

8月8日~10日、日本全国及び

海外から高校生が福島県いわき市に集まりサミットが行われました。被災地の現状と地域のリーダーのあり方を現地見学などから学び、今後の防災・減災に向けた社会基盤のあり方や、地域の防災力向上に向けた人材のあり方、地域復興に向けグローバルな視点をもった交流のあり方について、多様な視点に立った課題認識と解決に挑戦しました。



本校からは1・2年生2名ずつ

が参加し、それぞれ「地域の防災リーダーになろう」「地域と世界の架け橋になろう」というテーマで活動してきました。

■参加者の感想

帰還困難地域のすぐ近くまで行きました。街に人がいないという状態をテレビで見たことはありませんが、実際に見て驚きと空しさを感じました。しかし、その後に行われたディスカッションでは、除染が進んでいて少し希望を感じたという意見もあり、様々な意見を出し合い議論する楽しさを学びました。また、現地視察の際、放射線を計測する線量計がずっとゼロであることに驚いたのですが、そのときの地元の方の「福島の食べ物は『危険じゃない』ではなく『おいしい』のです。」という話が印象に残っています。実際に見て感じるこの大切さを知りました。(2年女子)

ワークショップの様子



除染作業の見学

ラグビー部全国大会!

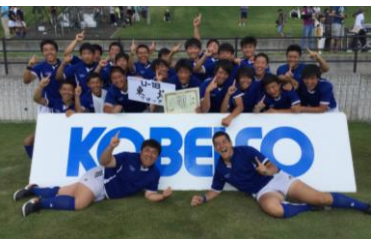
7月28日~31日、長野県の菅

平で行われた全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会に、本校ラグビー部の3年生3人が東北代表として出場し、全国4位の成績をおさめました!

■3年2組 関内裕希

(塩竈一中出身)

初の全国大会ということで、最初の試合はとても緊張してしまかなか良いプレーができませんでした。最終日の試合では自分たちがやってきたことをすべて出し切り、全国4位という結果を残すことができました。出会って数か月の仲間と一緒に闘い、勝って喜んで負けたりする経験はなかなかできないと思います。ラグビーの素晴らしさ、仲間の大切さを改めて感じ、ラグビーをやってよかったと思えました。こういった経験ができたのは周りの方々のご支援のおかげです。本当に感謝しています。次は、後輩たちが単独チームで上位を目指してくれると信じています。



震災対策技術展参加!

8月25・26日にアエルで開かれた「震災対策技術展」において、ブース参加と発表を行いました。この

催しは国内の地震・自然災害対策関係者が一堂に会する日本唯一の技術見本市・シンポジウムで、東北での開催は7回目です。

ブース展示は高校では本校が唯一の参加で、防災に関連する商品開発をしている企業、災害関連の研究機関、自治体、各種学会の展示を見学し、自分たちの学びがどのように社会とつながっているのかを勉強することができました。



本校の展示ブース

発表では、大学教員、省庁・自治体職員、NPO団体などから多くの実践報告があり、本校からも小野主幹教諭と2年小野寺杏さんが、1年千葉陽太さんが本校の取組を発表しました。今回は、多賀城高校での活動をこのような防災や災害に関連する多くの方々からPRする良い機会となりました。おかげで様々な企業や関係機関から声をかけていただき、先端の技術を教えていただくことができました。全国で活動している同年代の人たちだけではなく、実際に社会で活動している方々の話を聞き、アドバイスを受ける良い機会となりました。

宮城大学特別授業 「高齢者と健康」

8月29日、宮城大学看護学部の高橋和子教授をお迎えし、「高齢者と健康」と題し特別授業をしていただきました。教科「保健」の「加齢と健康」高齢者のための社会的取り組みの内容を踏まえ、さらに高齢者の災害時における安全について学びました。授業前半は加齢に伴う心身の変化と社会的変化、災害の発生と高齢者への影響を学び、後半のグループワークでは、災害時における高齢者の困りごとを考え、さらにどんな備えが必要であるかを検討しました。



本校よりお知らせ

10月1日、本校で災害科学科の説明会を行います。入学を希望される中学生や保護者の方々、地域の皆様など、多くの方々のご来場をお待ちしています。詳しくはHP上!